

地域再生計画『石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業』

事業の内容（案）

事業目的・概要

- 西日本最高峰の石鎚山をはじめとした雄大な石鎚山系を有する西条市、久万高原町、いの町においては、**類似の政策目標**を掲げ（※参考参照）、さらには石鎚山系をフィールドとした同様の取り組みをそれぞれが行っているのが現状
- 行政においては限られた資源の中において**より効率的な事業の実施**、また何より**利用者（旅行者、登山者、サイクリスト等）の満足度向上**のためには、行政の枠を超えた**1市2町が連携した事業の実施が必要**と考え、実施する
- 他方、これら利用者増進等振興策のみならず、**登山者等の安全対策の充実**、豊富な生態系を有する石鎚山系を**持続可能な資源**とするための取り組みなど多岐にわたる活動、さらにはこれら活動の**継続化に向けた組織等のあり方をDMOを含め検討**

[参考]各自治体における政策目標（重要業績評価指数（KPI））

【西条市】石鎚山登山者数 50千人 ⇒ 51千人、観光入込客数 3,495千人 ⇒ 3,777千人
 【久万高原町】イベント集客数 34千人 ⇒ 50千人、観光消費額 24.3億円 ⇒ 24.5億円
 【いの町】主要観光施設入込客数（町全体） 401千人 ⇒ 450千人

本事業における重要業績評価指標（KPI）

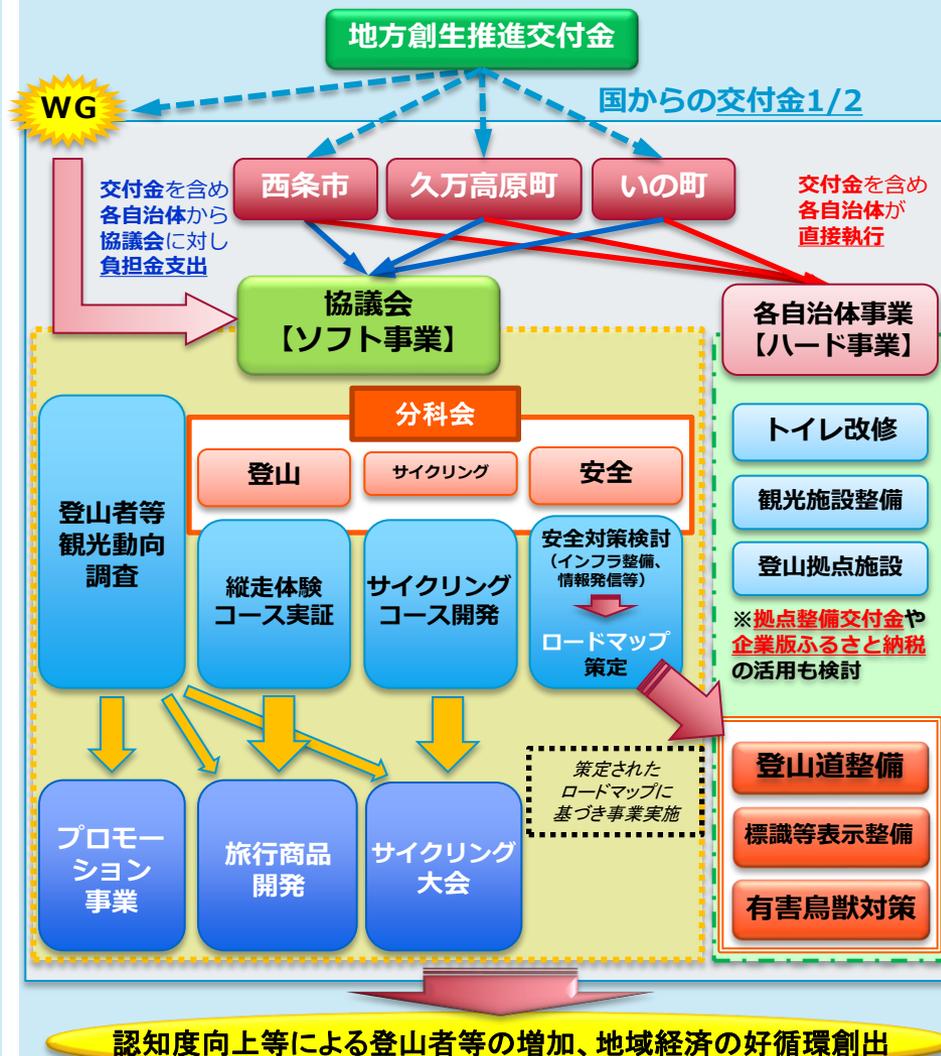
- **石鎚山登山者数 85千人 ⇒ 90千人** [[西条]ロープウェイ利用者、[久万高原]公衆トイレ]
- **周辺主要観光施設入込客数 444千人 ⇒ 488千人**
 [[西条]ふれあいの里«5千人」、石鎚山ハイウェイオアシス館（道の駅小松オアシス）«254千人」、頂上山荘«2千人」、
 [久万高原]おもごふるさとの駅«51千人」、岩黒レストハウス«27千人」、深泉亭面河茶屋«2千人」、国民宿舍古岩屋荘«42千人」、
 [いの町]木の根ふれあいの森«1千人」、道の駅木の香«54千人」、山荘しらす«6千人」]
- **石鎚山系関連イベント参加者数 4,633人 ⇒ 5,100人**
 [[西条]西条自然学校 自然観察会等«2,407人」、石鎚山スターナイトツアー«569人」 [久万高原]石鎚山ヒルクライム«602人」、
 [いの町]四国のてっぺん酸欠マラソン«455人」、氷室まつり«600人」]

本事業実施後に期待すること

- 共有化された方向性の下、**継続的**及び新たな実施者による**新たな取り組み創生**
- 周辺山々然り、しまなみ海道、仁淀ブルーなど**他地域と連携した取り組み**に発展

事業イメージ（案）

- 連携して実施する**ソフト事業**は、交付金を受け、**協議会に対し負担金を拠出し**、実施
- 本事業に関連する各自治体単独の**ハード事業**については、交付金を受け、**直接実施**
- 協議会の結果を受け実施するハード事業についても、交付金を受け、各自治体が**直接実施**



認知度向上等による登山者等の増加、地域経済の好循環創出